

西河技術経営塾研究科前期 講義録 TA01

作成：瀧川 淳

日時：平成 29 年（2017 年） 5 月 29 日（月）午後 0 時 35 分 ～ 午後 1 時 40 分

場所：アーネスト育成財団内会議室（渋谷区代々木 1-57-2 ドルミ代々木 704 号）

講師：小平和一郎

研究生：瀧川 淳

講義名：(TA01)¹「当面の研究課題を決定する」

講義内容

1. はじめに

第 1 回目 (TA01) の講義 (研修) を行った。内容は、研究科テーマと計画作りに関し、打合せを実施した。研究科設置の趣意や目的の説明を受けた。当面は、研究生個々に個別対応とし、講師で月 2 回、1 回 1 時間程度研究に取り組むこととした。

2. 研究科の概要

(1) 設置の趣意と目的

本研究科は、西河技術経営塾講師の人財育成を目的に研究科 (前期、後期) を新設した。

(2) 第 1 期の研究科の研究生

鈴木義晴 (2 期生)、瀧川淳 (3 期生)、渋谷加津美 (3 期生) の 3 名が任命された。

(3) 指導教官 指導教官に小平和一郎専務理事が就任する。

(4) 研究科・前期の入塾式と修了要件

カリキュラム計画が受講生と固まったら、研究科・前期の入塾式を 9 月までに行う。

修了要件として、日本開発工学会などの学会に査読付き論文を 1 篇以上採録されることとする。

3. 研究テーマ

(1) 西河技術経営塾講師実習

瀧川は、「エンジニアリング・ブランドと技術経営を学ぶ」(第 7 章) と「ICT を活用した新規ビジネス」(第 17 章) を塾講義の講師を担当する。第 5 期生の 90 分の講義の内 1/3 程度を担当する。第 6 期生のそれでは 90 分フルでの講義担当を目標の目処とする。

本日の指導により、第 7 章の講義のうち、瀧川で担当する部分については次回アジェンダを用意し提案する。終身雇用が珍しくなった近年では、エンジニアリング・ブランドは従業員向けロイヤリティに関しても強く影響するため、経営者の視点として社内への効果にも意識しながら研究を進めたい。

(2) 次回日程 6 月 16 日 (金) 10 時～12 時

(3) 参考資料

研究の参考資料として、下記書籍 2 件を選定した。

『戦略的ブランド・マネジメント 第 3 版』(2010 年)『戦略的ブランド・マネジメント』(2004 年)、ケビン・レーン ケラー著 東急エージェンシー

以上

¹ (注) TA01 : TA とは、Takigawa のこと。01 は、1 回目。第 2 回は、TA02 となる。